

2025年度 社会福祉法人 めやす箱 児童部門 事業報告書

1. 概要

法人理念を基に「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」「利用者満足度及び支援力の向上」「安定的かつ持続可能な事業運営」「地域支援事業の継続的な実施と体制強化」を部門目標に掲げ、事業に取り組んだ。

職員個々のスキルアップと部門全体のチームワーク向上を同時並行で推進することで、様々な変化があった1年間ではあったが無事事業運営を行うことができた。

2025年度の取り組みの評価を通じて、改善が必要な部分には対策を講じることで、質の高い支援・求められるサービスを提供、職員の働きやすさを確保できるように努め、児童部門としての責務を果たしていく。

2. 目標に対する取り組み

① 働きやすさとやりがいを感じられる職場作り

- ・「職員が働きやすい環境作り」に向け、管理者を中心に各職員と定期面談をする中で、各職員が希望するキャリアや働き方などの把握に努めた。また、法人・部門が期待する姿と本人がやりがいを感じることの両面を把握しながら育成することで、働くやりがいやモチベーションに繋げることを意識して取り組んだ。
- ・人材育成に関して、OJT、エルダー制度、目標管理、法人研修、外部研修等により、目標を持ちながら仕事に取り組む環境のもと学ぶ機会を設け、支援力、人間力、プロ意識の向上と定着を図った。また、定例部門会議内で職員の現状(強み・課題)を管理職間で共有することで、事業所を越えて部門全体で職員の育成を担っていく意識をもつことを心掛けた。
- ・中堅～管理層職員の定着、働きやすさの確保は喫緊の課題である。前年度に実施したちゅうぎんESサポートの結果からも読み取れるように、中堅～管理層へのフォロー体制は十分なものだとは言えない。階層や立場に応じた一定の負荷や責任はありつつも、業務精査や定例業務のマニュアル化などを通じて、各職員が力を発揮できる環境の整備に今後取り組んでいく必要がある。
- ・キャリアアップについて、准職員から正職員(法人採用職員)への昇格者は3名となっている。

② 利用者満足度及び支援力の向上

- ・サービス満足度調査でいただいたご意見や課題を真摯に受け止め、各事業所で改善を図っている。

- ・職員の支援力向上を目的に、コンサルテーションとして外部講師をお招きし、講義や事例検討会を継続的に実施している。他事業所からも参加者を募り、学びの機会 学びの機会の提供にも繋がっている。その他、研修担当者が企画する部門勉強会、新採用職員研修、事業所間交換研修も継続的に実施し、障害児支援を行うにあたって必要な知識が得られる体制整備に努めた。
- ・保護者の学ぶ場や横の繋がりを構築する機会の確保を目的に、事業所及び事業所合同の保護者向け勉強会や茶話会を定期的で開催している。「参加したいが仕事のため叶わない」などのご意見も多いため、保護者がより参加しやすい曜日や時間帯について今後も検討を重ねていく。

③ 安定的かつ持続可能な事業運営

- ・2025年4月から開設している日中一時支援「めやすばこ・りんぐ」について、年間目標稼働数を超える稼働を確保できた。しかし、収支のバランスを整え、地域の社会資源として長く根付いていくためにも、2026年度はより高い稼働目標を設定して運営を行っていく。
- ・前年度の児童発達支援センターめやすばこに引き続き、「児童発達支援センターさんぼるて」でも第三者評価を受審した。職員の働きやすさや職場風土などに関しては良い評価を頂いた一方で、課題点も挙がっている。健全な運営はもとより、更なるサービスの質の向上を目指す。
- ・車両事故について、年間3件（内1件は非の無い事故）発生した。過失事故件数は前年度と変わらないが、通勤中の事故が増加傾向にある。勤務中だけでなく、通勤中も安全運転への意識を高く持ち、今後も車両事故防止に努める。

④ 地域支援事業の継続的な実施と体制強化

- ・児童部門広報誌「みんなのこうほうし」を継続して年間2回発行している。また法人のSNS(Instagram)を活用して、各事業所の活動内容などタイムリーな情報発信を行っている。昨今、事業所情報の収集のためにSNSを活用する保護者、求職者が増えているため、今後もSNSでの情報発信に力を入れていく。
- ・12月に法人地域貢献委員会主導のもと、地域の生活困窮者支援を目的に「児童発達支援センターめやすばこ」にて、互近助パントリーを開催した。今後も、地域の中核拠点として、地域社会、住民の方との交流促進に取り組んでいく。
- ・地域支援事業「めやすばこ みっけ」「めやすばこ ぽかぽか」「めやすばこ ふたば」を継続的に開催することで認知も広がり、内容や対象の調整を行ったこともあり利用してくださる方が増えている。また、児童発達支援センターさんぼるてにて、医療的ケア児や小さく産まれた児を対象にした新地域支援事業「はあとほっぷ」も新たに開設した。今後は保健師や訪問看護とも連携しながら参加者の拡大を

図っていく。今後も、安心して子育てができる地域づくりの実現に向け、継続的・発展的な取り組みを行う。

3. 利用実績
(別紙参照)

4. 年間行事

4月	【広報】 みんなのこうほうし 第7号発行
5月	【勉強会・研修】 部門研修（新採用職員向け） 【親睦会】 部門親睦会（ミニゲーム）
6月	【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（自閉症の特性）
7月	【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（かがやき手帳を書く会） 【勉強会・研修】 部門研修（事業所間情報交換研修）
8月	【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（父親向け勉強会） 【勉強会・研修】 部門職員向け研修（ケース検討①）
9月	【勉強会・研修】 部門職員向け研修（ケース検討②） 【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（重松先生勉強会） 【勉強会・研修】 部門職員向け研修（車両運転講習） 【親睦会】 部門親睦会（ミニ運動会）
10月	【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（ペアレントトレーニング①） 【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（ペアレントトレーニング②） 【広報】 みんなのこうほうし 第8号発行
11月	【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（ペアレントトレーニング③） 【勉強会・研修】 部門職員向け研修（青年期）
12月	【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（サポートブック①） 【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（サポートブック②） 【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（かがやき手帳を書く会） 【勉強会・研修】 部門職員向け研修（小田桐先生勉強会）
1月	【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（サポートブック） 【勉強会・研修】 部門研修（事業所間情報交換研修） 【勉強会・研修】 保護者向け勉強会（重松先生勉強会）
2月	なし
3月	なし

※毎月部門会議、各事業所職員会議を実施

※利用児対象の行事については、各事業所事業報告参照

5. 今後の課題

- ・今後もご利用児、ご家族が安心安全にご利用できる場所であることを最優先に、支援力と満足度が高い事業所を目指して事業運営を行う。また、これらを実現するためには職員が働きやすい環境、やりがいをもって働ける環境を整備する必要がある。結果として利用者満足度に繋がることを認識し、部門全体で環境整備に努める。
- ・管理職を中心としながら収益や稼働率の安定化に取り組み、運営基盤の強化を図る。部門内の全事業所が目標稼働率を達成することを目指して、利用児確保や利用調整などに取り組んでいく。また、地域支援事業や関係機関との連携を通じて法人の価値を高め、選ばれる事業所になれるよう努めていく。
- ・管理層の定着は喫緊の課題である。管理業務や担当業務などどの事業所でも共通して行う定例業務についてはマニュアル化や見える化に取り組み、管理者やリーダー層職員が見通しをもった上で安心して業務に取り組める環境を整備する。この取り組みに関しては対応が必要な範囲が広いため、優先順位を決めながら1~2年程度かけて整備を進めていく。また、2025年度に引き続き管理者と統括責任者で定期的な面談を行い、各事業所のビジョンや課題などについて情報共有を行う機会を確保する。
- ・児童発達支援センター事業の中核機能強化について、「児童発達支援センター めやすばこ」「児童発達支援センター さんぼるて」ともに保育所等訪問支援、障害児相談支援などの事業開始、地域支援事業や研修会の実施など、地域の中核的役割を果たせるように体制整備を進めてきた。今後、サービス利用に至るまでの入口支援など更なる取り組みの強化、質の向上が求められていくことが予想される。今一度、障害児支援における地域の中核的役割とは何かを考え、期待される役割や健全な運営の実現に向けて、情報収集を行いながら更なる体制整備に取り組む。また、地域のお子様とご家族を中心に、関係機関と連携しながら切れ目なく・漏れなく支援できるよう、専門性の向上・人材育成・地域におけるネットワークの構築に取り組む。
- ・時代の変化とともに新たな働き方が議論される中、改めて法人理念にもある「職員が働きやすい環境作り」がどういったものかを考え、アップデートしていく必要がある。職員個々が思う「働きやすさ」を把握し、良好な人間関係、自己実現できる環境、成長を実感できる環境、ワークライフバランスの充実など、包括的な視点で取り組みを進めていく。

2025 年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ・きつず 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の3点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①働きやすさとやりがいを感じられる職場作り
- ②利用者満足度及び支援力の向上
- ③安定的な事業運営
- ④地域支援体制の構築と情報発信力の強化

以下、各項目について記載する。

①について、職員全員と年に2回面談を行い、職員の意見を拾い上げる機会を設けた。職員から出た意見を取り入れることで、職員個々が明確にキャリアビジョンを描ける育成体制と働きやすい職場環境に繋げることができた。また、職員会議とパート会議で職員間の情報共有を行い、職員とパート職員がよりコミュニケーションの取りやすい環境づくりを行った。今までパート会議には児発管のみが参加していたが、現場の職員も参加することで児童のねらいの共有や意見交換が直接行うことができた。今後も互いにフォローし合える関係を築いていけるよう、意見を出しやすい環境づくりに努めていく。

②について、今年度の満足度調査は100%回収することができた。保護者からは「先生方が話を聞いてくれて親の支えになっている」等のご意見をいただいた。降園時には保護者に寄り添いながら、専門的な視点も含めて療育の様子を伝えられていたことが、結果に繋がったと感じる。今後も職員一人一人の専門性を高めていきながら、利用者の満足度に繋げていく。また、りーちで事業所内の事例検討を行った。PEPの検査を通して、ご利用児の支援を見直す機会を設け、職員全員で知識と理解の向上に努めた。次年度に向けて、アセスメントの大切さを理解できるよう勉強会を実施し、更なる支援力の向上を目指していく。

③について、定期的に事業所内イベントや合同イベントを行うことで、安定した稼働を目指した。また、職員へ改めて加算について説明することで、こういった場面で算定できるのかを知らせた。今年度は園や訪問介護リハから療育への見学依頼があり、関係機関連携加算を算定し情報共有に勤めた。職員会議では、職員全体で事業所の運営方針や目標について話し合う機会を設けた。稼働については、毎月他事業所も含めて周知した。事業所全体のチームワークを高めることで稼働への意識を職員一人一人が持てるよう努めた。

④について、年に2回園見学を実施することで園との情報共有を行い、地域との連携を図りながら支援することができた。園と家庭と療育で包括的な支援を行うことで、ご利用児の安定した支援に繋がった。保育所等訪問支援事業では、5名の利用児を定期的に訪問することができた。園の先生との信頼関係を築いていく中で、園で出来ることを増やしていきたいという共通認識を持ちながら障害児支援の理解を促した。広報活動においては、年4回事業所内広報誌の作成、SNSによる活動の発信を行い、地域社会に向けて障害児支援に関する情報発信を積極的に行うことができた。次年度は SNS の頻度を上げて、事業所内の様子を発信することで、新規利用に繋げていく。

2. 利用者・職員の状況

(1) 児童発達支援事業：利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	208	221	219	232	202	228
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	242	220	234	232	209	224

2025年度利用児合計…2671人

(2) 児童発達支援事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	23	21	22	22	20	22

開所日合計…262日

(3) 保育所等訪問支援事業：利用実績（契約者数 8 名）

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	8	11	12	13	7	13
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	15	10	10	14	7	11

2025年度利用児合計…131人

(4) 保育所等訪問支援事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	20	20	21	21	18	20
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	22	18	20	19	18	21

開所日合計…238日

(5) 居宅訪問型児童発達支援事業：利用実績（契約者数0名）

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	0	0	0	0	0	0
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	0	0	0	0	0	0

2025年度利用児合計…0人

(6) 居宅訪問型児童発達支援事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	20	20	21	21	18	20
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	22	18	20	19	18	21

開所日合計…238日

(7) 職員の状況（2025年3月31日現在）

単位：人

	管理者兼児発 管	児童発達支援 管理責任者	児童指導員	保育士	訪問支援員	合計
常勤	1			3		4
非常勤				4※	1※	5

※保育士一名は訪問支援員との兼務。

※訪問支援員一名は別事業所との兼務。

(8) 職員の勤務体制（2025年3月31日現在）

A 勤	8:30～17:15（45分休憩含む）	B 勤	8:30～12:30
C 勤	9:00～17:15（45分休憩含む）	D 勤	13:15～17:15
E 勤	9:00～16:15（45分休憩含む）	F 勤	9:00～12:00
G 勤	9:00～13:00	H 勤	9:30～16:15（45分休憩含む）
I 勤	9:00～16:45（45分休憩含む）	J 勤	13:15～16:15
K 勤	8:45～17:00（45分休憩含む）	L 勤	13:15～17:15（職員）
M 勤	9:30～18:15	N 勤	9:00～13:00
O 勤	8:45～17:15（45分休憩含む）	P 勤	9:30～15:00
Q 勤	13:30～17:30	R 勤	8:45～12:30
S 勤	13:15～17:00	T 勤	9:00～12:15
U 勤	13:00～16:15	V 勤	9:00～12:45
W 勤	13:30～17:15	X 勤	13:15～16:45
Y 勤	9:00～16:00（45時間休憩含む）	Z 勤	9:00～15:45（45時間休憩含む）

3. 年間行事

4月		10月	事業所内イベント、園見学
5月	保護座談会、園見学	11月	
6月	保護者懇談	12月	
7月		1月	事業所内イベント
8月	夏祭り（保護者と参加型）	2月	お楽しみ会（3事業所合同）
9月	保護者懇談	3月	保護者懇談

4. 施設整備

①エアコン購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	459,800 円	エアコン	459,800 円
計	459,800 円	計	459,800 円

（※処理年月日 2025年11月22日）

②照明器具購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	368,000 円	照明器具	368,000 円
計	368,000 円	計	368,000 円

（※処理年月日 2026年3月21日）

2025年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ・きつずⅡ 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の4点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①働きやすさとやりがいを感じられる職場作り
- ②利用者満足度及び支援力の向上
- ③安定的かつ持続可能な事業運営
- ④地域支援事業の継続的な実施と体制強化

以下各項目について記載する。

①「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」について

年度途中に、管理者・児童発達支援管理責任者の変更による体制変更があった。各職員と関係性を構築していくことを目標に毎月面談を行い、キャリアビジョン、悩み、楽しみなどの把握に努めた。面談を通して事業所課題があがった際には、課題を掘り下げ要因分析し、職員全体の主体的な動きにより解決に向かうことを意識し、改善を図った。

各職員、目標管理シートやOJTチェックシートに掲げた目標を中心に、計画的に業務を遂行することができている。取り組みの達成・未達成を確認する中で、達成感ややりがいを認識したり、次へのステップを掲げたりなど、それぞれが前向きに業務に臨むことができた。

②「利用者満足度及び支援力の向上」について

昼礼や終礼時には、利用児の様子や特性、生活の場での課題について話し合い、様子の共有だけではなく具体的な解決策や支援の方法や手立てについて検討を重ねている。より活発なコミュニケーションを通し、気軽に相談や援助をしあえる仲を構築することで、チームでの問題解決力を高めていきたい。

親子参加の行事では、職員がどのように指示や見通しを伝えているかなど利用児個々に合わせた個別的な関わりや環境設定を直接見ていただく機会となった。実施後の保護者アンケートでは、家庭での関わり方の参考にしてみたい、普段見られない姿を見る良い機会だったという感想が多く挙がっており、サービスの質や利用者満足度の向上に繋がった。

③「安定的かつ持続可能な事業運営」について

追加利用の声掛けだけではなく、季節ごとの行事や事業所内イベントを開催することで稼働の向上を目指したが、年間稼働目標を切る結果となっている。年度途中の新規契約の難しさ、職員の産休・育休、退職などの変化による業務負荷などの要因が挙げられる。職員の働きやすさや業務負荷を考慮した上で、令和 8 年度には、契約者数、利用延べ人数を増やし、稼働の安定を図る。

④「地域支援事業の継続的な実施と体制強化」について

継続して、定期的に園へ訪問している。また、リハビリ見学や、ケースに応じた関係者間での懇談なども実施している。今後も、利用児の特性をもとに関わり方の共通認識を図ったり、協働できる支援について相談しあったりすることにより、支援基盤の強化を図る。

保育所等訪問支援では、園生活の一場面、手順書の活用を提案し実行した。対象児にとって有効な手立てを活用することにより、姿に変化が見られてきている。今後も、児童発達支援と保育所等訪問支援の併用だからこそできる支援を園と一緒に検討・実行し、過ごしやすい園生活、成長に繋がるよう努める。

2. 利用者・職員の状況

(1) 児童発達支援

利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2025 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	196	209	205	200	210	219
年月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
実績	218	213	205	204	192	198

2025 年度利用児合計…2,469 人

利用（開所）状況

単位：日

年月	2025 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	21	22	22	20	22

開所日合計…262 日

(2) 保育所等訪問支援

利用実績

単位：人

年月	2025 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	0	0	0	0	0	0
年月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
実績	0	1	1	1	1	1

2025 年度利用児合計…10 人

利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	20	20	21	21	18	20
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	22	18	20	19	18	21

開所日合計…238日

(3)職員の状況（2026年3月31日現在）

単位：人

	管理者	児童発達支援 管理責任者	保育士	訪問支援員	児童指導員	合計
常勤		1	3	1	1	6
非常勤	1		1			2

※1名、保育士と訪問支援員を兼務

3. 施設整備

①パソコン購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	126,500円	パソコン	126,500円
計	126,500円	計	126,500円

（※処理年月日 2025年 12月 22日）

2025年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ ひ・よ・り きつず 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境づくり」を基に、以下の4点の事業所目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」
- ②「利用者満足度及び支援力の向上」
- ③「安定的かつ持続可能な事業運営」
- ④「地域支援の継続的な実施と体制強化」

以下、各項目について記載する。

① 「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」について

各職員と定期的に面談をしていく中で、それぞれ職員のキャリアビジョンやワークライフバランスの把握していった。

一方で職員同士コミュニケーションを取れているように感じるが、支援方法や活動内容などについて、全体で話し合いをする機会が少なかったように感じる。週ごとの活動については前の週の昼礼または終礼でねらいや内容を共有し、翌週の活動の準備や職員間で共通の認識を持って支援を行えるようにしていきたい。

事業所内のイベントの企画・運営をしていく中で各々の強みを活かして、準備など職員間で密に進捗状況など共有しながら実施することができている。イベントなど経験することで、職員の達成感ややりがいに繋がっており、成長できる機会になっている。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」について

懇談を通して、保護者の相談に寄り添いながら対応していくことで、利用者の満足度に繋げていくことができているように感じる。また、2025年度保育所等訪問支援事業については新たに1名契約をして、スタートをしている。

また、リーチと協同して対象の利用児を決め、事例検討を行ったり、保護者向けの勉強会（かがやき手帳や就学の流れ）を実施したりした。

事業所内イベントとして、夏祭り、クリスマス会、食育活動とそれぞれ2日間に分けて実施をしたが、参加希望される方が多く、参加された保護者からは好評であった。しかし、土曜日の参加希望の方が多く、調整していただくこともあったため、今後イベントについて開催日時など検討していきたい。

③ 「安定的かつ持続可能な事業運営」について

キャンセル対応だけでなく、季節の行事や親子での行事活動を行うことで、稼働率の安定を図ることができている。また加算については、園見学やリハビリの見学をしたり、懇談時に保護者に参観する機会を設けたりすることで加算の算定に繋げていった。

④ 「地域支援事業の継続的な実施と体制強化」について

利用児が通う園の先生から送迎時に相談を受けることがあり、利用児の特性をもとに伝え方や様子の共有を図っている。伝え方や関わり方を共有していくことで共通理解できるようにしていった。

引き続き、園見学を実施し関係作りを行うことで、良好な関係作りを構築していきたい。

また、地域支援事業ではみっけ、ぼかぼか、ふたばに参画し、職員も地域保護者やお子さんに関わる機会に繋がった。

(保育所等訪問支援)

保育所等訪問支援の新規契約者を1名行っている。園との情報共有や、利用児支援などを園の先生と共に考えながら行えたことで、園の先生方の特性理解の一助になれたと感じている。2026年度も2園での継続的な実施が決まっており、今後も受け入れ可能な範囲で事業を進めていく。

2. 利用者・職員の状況

(1) 児童発達支援事業：利用実績（定員10名）

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	214	227	235	241	222	241
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	241	217	226	228	205	215

2025年度利用児合計…2712人

(2) 児童発達支援事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	23	21	22	22	20	22

開所日合計…262日

(3) 保育所等訪問事業：利用実績（契約者数2名）

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	7	8	10	8	8	8
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	8	4	6	8	8	6

2025年度利用児合計…89人

(4) 保育所等訪問事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	20	21	20	21	19	20
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	22	18	20	19	19	20

開所日合計…237日

(5) 職員の状況（2026年3月31日現在）

単位：人

	管理者	児童発達支援管理責任者	児童指導員	保育士	指導員	合計
常勤	1	1	2	2		5
非常勤			1	2		3

※管理者と児童発達支援管理責任者は兼務

(6) 職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A 勤	8：30～17：15（45分休憩含む）
B 勤	8：30～12：30
C 勤	13：15～17：15
D 勤	9：00～16：45
E 勤	9：00～12：30
F 勤	13：15～16：45
G 勤	9：00～15：00
H 勤	9：00～12：00
I 勤	12：00～15：00
J 勤	10：00～16：00
K 勤	9：30～12：30
L 勤	13：00～16：00

3. 主な年間行事

4月		10月	
5月	合同茶話会（児発・放デイ）	11月	食育活動
6月	保護者懇談	12月	クリスマス会、保護者懇談
7月	事業所内茶話会	1月	かがやき手帳勉強会
8月		2月	合同運動会（児発）
9月	夏祭り	3月	保護者懇談、事業所内茶話会

4. 施設整備

① 車両購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	464,690 円	車両	464,690 円
計	464,690 円	計	464,690 円

（※処理年月日 2026年 2月 28日）

2025 年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ きつずぷらす 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の 4 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①「働きやすさと成長を実感できる職場作り」
- ②「利用者満足度及び支援力の向上」
- ③「安定的な事業運営」
- ④「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」

以下各項目について記載する。

① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」について

事業所内では、職員間のコミュニケーションを重視し、意見交換の機会を増やすことで風通しの良い職場づくりに努めた。その結果、職員同士で相談や意見を出し合う場面が増え、職場全体で支援の方向性や活動の実施方法など考えることができ、1人ひとりが責任をもって発言することができたと感じる。

一方、目標設定の明確化や OJT を通じて人材育成を図ったが、振り返り不足や指導のばらつきが課題である。次年度は定期的な面談を行い、育成体制の強化を図る。さらに、外部研修を通じたスキル向上に取り組んだが、実践への活用が不十分な点があるため、共有や実践報告の機会を設け、事業所全体の支援力向上につなげていきたいと考える。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」について

2024 年度サービス満足度調査の結果を踏まえ、より質の高いサービス提供を目指し、活動内容および環境整備の見直し・改善に取り組んだ。活動においては、「楽しく学ぶ」ことを重視しながら支援を行うことで、利用児および保護者の満足度向上とサービスの質の向上に努めた。

さらに、利用児および保護者のニーズの把握に努め、それに基づいたイベントの企画・実施を行った。公共交通機関を使用した美観地区へのお出かけ活動では多くの参加者を集めることができた。保護者の方からは「親のいない所で自発的に考えて買い物ができたことが、嬉しい」「次も参加させてほしい」と温かい言葉を頂くことができた。

加えて、保護者向けの茶話会や参観日、勉強会、保護者参加行事等を年間計画に基

づき実施し、保護者同士の交流の機会および職員との信頼関係の構築に努めた。また、高学年の保護者に対しては中学校進学に向けた情報提供の機会を設け、就学に向けて安心感をもっていただくことができた。

③ 「安定的な事業運営」について

事業所運営の安定化に向け、全職員が運営への意識を持ち、目標稼働率の達成に必要な視点を共有しながら業務に取り組んだ。その結果、安定的な稼働および円滑な事業所運営の推進につながった。

また、利用児一人ひとりの課題に着目し、「楽しく学ぶこと」および「学びの目的を理解すること」を重視した上で、「社会性」や「コミュニケーション能力」の向上を目指した活動や行事の企画・実施を行った。これにより、利用児および保護者にとって「通いたい」「通わせたい」と感じられる事業所づくりに努めた。

さらに、各職員が担う業務の幅を広げることで、業務負担の分散と個々のスキル向上を図った。これにより、事業所全体の業務効率の向上と、職員が無理なく長く働き続けられる職場環境の整備に取り組んだ。

④ 「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について

生活に沿った支援の提供を目的として、地域の学校や学童との連携強化に取り組んだ。学校訪問や情報共有の機会を設けることで、生活場面における困りごとの把握と共有を行い、関係機関と連携しながら支援を実施した。これにより障害のある児童が地域で安心して生活できる環境づくりに努めた。

また、地域で活用可能な資源や中学校進学に向けた情報について、茶話会や配布資料等を通じて保護者への情報発信を行い、保護者の理解促進と不安軽減を図った。

さらに、地域支援事業「めやすばこ ふたば」の拠点として継続的に事業を実施し、支援を必要とする児童および保護者に対する相談支援や情報提供を行った。これにより、地域におけるサポート体制の充実と安心して相談できる場の確保につながった。

1. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	244	242	251	222	222	226
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	241	205	232	219	202	240

2025年度利用児合計…2,746人

(2) 利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	23	21	22	22	20	22

開所日合計…262日

(3) 職員の状況（2026年3月31日現在）

単位：人

	管理者	児童発達支援管理責任者	児童指導員	保育士	指導員	合計
常勤	1			3		4
非常勤			1	1	1	3

(4) 職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A 勤	8:30～17:15（45分休憩含む）
B 勤	9:45～18:30（45分休憩含む）
C 勤	8:30～12:30
D 勤	13:15～17:15
E 勤	9:45～13:45
F 勤	14:30～18:30
G 勤	13:15～18:15
H 勤	12:45～18:15
I 勤	9:00～16:45（45分休憩含む）
J 勤	9:00～12:30
K 勤	13:15～16:45
L 勤	12:00～18:00
N 勤	9:30～18:15（45分休憩含む）
O 勤	13:00～16:00

3. 主な年間行事

実施月	実施行事	実施月	実施行事
4月		10月	おやつ作り
5月	4事業所合同茶話会	11月	買い物活動 参観日
6月	保護者懇談	12月	お楽しみ会 保護者懇談
7月	おやつ作り 夏休みイベント	1月	イベント活動
8月	夏祭り 夏休みイベント 自由研修イベント 食育イベント	2月	おやつ作り
9月	保護者懇談	3月	イベント活動 保護者懇談

※スポーツレクリエーション（プラザ体育館）は6月～12月で開催
その他のスポーツレクリエーション（ぷらす内）は1月～3月に開催

4. 施設整備

①車両購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	520,000円	車両	520,000円
計	520,000円	計	520,000円

(※処理年月日 2025年 3月 31日)

2025 年度 社会福祉法人めやす箱
児童発達支援センター めやすばこ 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本とし、以下の 4 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ① 「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」
- ② 「利用者満足度及び支援力の向上」
- ③ 「安定的かつ持続可能な事業運営」
- ④ 「地域支援事業の継続的な実施の体制強化」

以下、各項目について、事業所での取り組みを記載する。

① 「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」について

定期的な面談の中で、職員の思いを聞き、成長するために必要な目標を人事考課などで設定することで、やりがいを持ちながら自己実現ができるよう心がけた。また、各クラス職員の人数を増やすことで、ご利用児が安心して通うことができる事業運営ができた。

2025 年度は、年度途中の異動もあり、一時的に人員が不足する状況があったが、クラス間で連携したり、他事業所からのヘルプにきてもらったりすることで、安全に運営することができた。今後も職員一人ひとりの業務負担を考慮しながら、やりがいを持って働くことができる体制作りに努めたい。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」について

前年度の満足度調査をうけ、電子連絡帳を活用し写真を送ることでご利用児の様子を伝え、保護者の方に成長を具体的に伝えることができた。また、話す機会や話しやすい時間を確保することで、相談しやすく安心していただける事業所作りに努めた。

外部講師による職員向け勉強会や事業所内勉強会は職員の学びとなり、支援力の向上となっているため引き続き行っていく。

茶話会については年々、参加者の減少傾向もみられるので、保護者の方のニーズを把握するためアンケートを取っている。2026 年度は、アンケートをもとに話せる場の提供と、保護者が参加しながら話す機会を設けていきたい。

③「安定的かつ持続可能な事業運営」について

12月にはインフルエンザが流行した。保健所の聞き取りでは、対応を褒めていただいたが、感染症の流行時期の対応を見直し、安心安全に事業運営することへの意識を職員一同で再認識することができた。年度途中の異動があったが、クラス間で連携をしたり、他事業所からのヘルプにきてもらったりすることで、安全に運営することができた。

地域の中核的役割を担うことを目的に、来年度は地域の児童発達支援事業所を招いての勉強会を開催する。

④「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について

地域支援事業「めやすばこ みっけ」の継続的な開催、互近助パントリーの開催、障害児相談支援事業の定着、保育所等訪問支援の開始など、地域の中核拠点としての役割を担えるよう、環境整備を進めていくことができた。また、地域との繋がりを構築する機会として、向かいにあるセブンイレブンにご利用児の作品と一緒にホームページやSNSを載せたチラシを置かせていただいたり、卒園制作を作りフェンスに飾ったりすることでめやすばこを知っていただく機会を持てた。来年度も継続的に行っていきたい。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績

【児童発達支援センター(児童発達支援：定員30名)】

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	689	655	660	731	657	713
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	721	648	625	697	621	686

2024年度利用児合計…8,103人

【児童発達支援センター(保育所等訪問支援)】

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	0	0	0	0	0	1
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	1	1	1	2	2	2

【児童発達支援センター(障害児相談支援)】

単位：件

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	2	4	4	1	8	2
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	3	2	4	8	3	0

(2)利用（開所）状況

【児童発達支援センター(児童発達支援・障害相談支援)】

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	20	21
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	23	22	22	22	20	22

開所日合計…261日

【児童発達支援センター(保育所等訪問支援)】

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	21	20	21	22	19	19
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	22	19	20	19	18	21

開所日合計…241日

(3)職員の状況（2026年3月31日現在）

【児童発達支援センター】

単位：人

	管理者	児発管	保育士	児童指導員	看護師	相談支援専門員	訪問支援員	合計
常勤	1	1	7	1				9
非常勤			9	2		1	1	10

※児童指導員と訪問支援員は兼務

(4)職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A 勤	8：15～17：00(45分休憩)	K 勤	9：00～17：00(45分休憩)
B 勤	8：15～12：15	L 勤	16：00～17：00
C 勤	13：00～17：00	M 勤	9：45～11：45
D 勤	7：30～16：15(45分休憩)	N 勤	11：00～13：00
E 勤	7：30～11：30	O 勤	8：45～17：30
F 勤	8：15～17：00(45分休憩)(パート)	P 勤	8：45～12：45
G 勤	8：30～17：00(45分休憩)	Q 勤	13：30～17：30
H 勤	8：45～17：00(45分休憩)	R 勤	9：45～16：45(1時間休憩)
I 勤	9：00～13：00	W 勤	8：15～18：30(45分休憩)
J 勤	9：00～15：00	X 勤	9：00～16：45(45分休憩)

3. 主な年間行事

4月		10月	さくら組茶話会
5月	家庭訪問(R7年度入園児) 親子遠足 就学に関する保護者勉強会	11月	運動会 すみれ組茶話会 成人期に関する保護者勉強会
6月	参観日 かがやき手帳勉強会	12月	参観日 ひまわり組茶話会 かがやき手帳勉強会 クリスマス会
7月	夏祭り 利用児健康診断 利用児歯科検診(任意)	1月	年中児茶話会 保護者懇談
8月	年齢別茶話会	2月	R8年度に向けた入園説明会 利用児健康診断 就学児保護者懇談
9月	年長児茶話会 保護者懇談	3月	卒園式 保護者懇談

4. 施設整備

① 厨房のエアコン購入(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	381,480 円	エアコン	381,480 円
計	381,480 円	計	381,480 円

※処理年月日 2025年6月23日

2025年度 社会福祉法人めやす箱
児童発達支援センター さんぼるて 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の4点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①働きやすさとやりがいを感じられる職場作り
- ②利用者満足度及び支援力の向上
- ③安定的な事業運営
- ④地域支援体制の構築と情報発信力の強化

以下、各項目について記載する。

- ① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」について、今年度もクラスの垣根を越えて行事を企画実施することができ、横の繋がりが更に強固になった1年であった。各クラスの職員配置は安定し、職員数が少ない日があれば他クラスの職員が垣根を超え支援を行う風土ができ、安心安全に日々の運営を行うことができた。また、勤務時間の中で業務を終える風土が定着し、皆がワークライフバランスを意識し働くことができています。外部講師を招いたり個々が参加した研修のフィードバックを行ったりすることで専門性の向上を図ることができています。
- ② 「利用者満足度及び支援力の向上」については、2024年度サービス満足度調査の結果を踏まえ「きょうだい同士の交流」と「地域での活動の機会創出」に取り組んだ。「きょうだい同士の交流」については、法人主催のめやフェスへの参加を促したことで、事業所内だけでなく他事業所の家族とのふれあいをもつこともできた。その他にも、こどもの日の集い、夏祭り、運動会、遠足、クリスマス会、お別れ会、卒園式など事業所行事や茶話会などで保護者同士の横の繋がりができています。「地域での活動の機会を設ける」については、沢山の機会を設ける事ができた。地域の公園への散歩、お店での買い物、地域の神社への初詣、公共交通機関（電車活動）、図書館や倉敷科学センターのプラネタリウム遠足や福田公園への遠足などの活動もあり、地域での繋がりを持つことができた。
- ③ 「安定的な事業運営」については、感染症予防対策を行い、安定した運営を行うことができた。報酬改定もあり、収益も安定している。また、放課後等デイサービスの医療的ケアの算定を行う事で安定した収入となっている。

児童発達支援センターの機能強化とし、保育所等訪問支援事業、居宅訪問型児童発達支援事業、相談支援事業の3つ事業が開始している。保育所等訪問支援事業では地域の小学校への訪問を実施し、インクルージョンの推進を図っている。相談支援事業では、センターの中核機能としての基本相談を軸に、ご家族に寄り添った相談を行うことができた。

- ④ 「地域支援体制の継続的な実施と体制強化」について、さんぼるでの特色を活かした新たな地域支援事業「はあとほっぷ」を開始した。小さく生まれたお子様や医療的ケアが必要なお子様向けの親子参加型プレ教室であり、2025年度は2回開催している。また、地域向けや事業所向けの研修として、知的障害者福祉協会に所属している県内療育事業所を招いた見学会や勉強会を主催し、中核機能としての地域支援を行うことができた。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績

【児童発達支援：定員 24 名】

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	429	423	436	427	385	402
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	447	388	389	420	391	426

2025年度利用児合計…4,963人

【放課後等デイサービス：定員 6 名】

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	13	5	2	22	49	4
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	2	3	5	9	4	14

2025年度利用児合計…132人

【保育所等訪問支援】

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	0	0	0	0	0	0
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	1	1	3	2	4	2

2025年度利用児合計…13人

【障害児相談支援】

単位：件

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	42	33	32	35	26	14
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	11	10	15	12	9	19

2025年度件数合計…258人

※居宅訪問型児童発達支援は 2025 年度の利用実績なし

(2)利用（開所）状況

【児童発達支援・放課後等デイサービス・障害児相談支援】

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	23	21	22	22	20	22

開所日合計…262日

【保育所等訪問支援】

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	21	20	21	22	19	19
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	22	19	20	19	18	21

開所日合計…241日

(3)職員の状況（2026年3月31日現在）

【児童発達支援センター・放課後等デイサービス】

単位：人

	管理者	児童発達支援 管理責任者	保育士	児童 指導員	機能訓練 担当職員	看護師	管理栄養士	合計
常勤	1	1	4	2	0	3	0	8
非常勤	0	0	5	1	1	3	1	9

(4)職員の勤務体制（2024年3月31日現在）

A 勤	8:15～17:00（45分休憩含む）	E 勤	9:00～16:45（45分休憩含む）
B 勤	8:15～12:15	F 勤	9:00～15:00
C 勤	13:00～17:00	G 勤	9:00～13:00
D 勤	8:45～17:00（45分休憩含む）	H 勤	7:30～16:15（45分休憩含む）

3. 主な年間行事

4月	オリエンテーション	10月	運動会
5月	こどもの日の集い	11月	遠足
6月	利用児健康診断 保護者懇談	12月	クリスマス会 保護者懇談
7月	かがやき手帳勉強会 夏祭り	1月	かがやき手帳勉強会
8月	茶話会	2月	利用児健康診断
9月	保護者懇談	3月	卒園式 お別れ会

4. 施設整備

① ノートパソコン (1台)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	126,390 円	ノートパソコン (1台)	126,390 円
計	126,390 円	計	126,390 円

(※処理年月日 2026年 3月)

2025 年度 社会福祉法人 めやす箱 めやすばこ・ぶる一む 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の 3 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ① 「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」
- ② 「利用者満足度及び支援力の向上」
- ③ 「安定的な事業運営」
- ④ 「地域支援事業の継続的な実施と体制強化」

以下各項目について記載する。

① 「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」について

2025 年度は新体制でのスタートであったため、業務の精査や各職員の役割を明確にすること、室内の環境改善を行うことで職員の働きやすい環境作りに努めた。下半期からは職員の退職、年度途中の異動などが重なり、ワゴン車を運転できる職員が不足した状況となってしまった。他事業所からのヘルプ体制により、パート職員は以前に比べて休暇を取得しやすくなったと感じているが、ワゴン車を運転できる職員からは「希望日に休みがとりにくい」といった意見も出ている。2026 年度は、どの職員でも休暇を取得しやすくするためにパート職員の募集を検討していき、より職員が働きやすい環境作りに努めていく。

毎月、職員会議にてご利用者への支援方法について話し合い、全職員での情報共有や支援の統一化を図ることができた。また、人材育成に関して、職員のキャリアビジョンを共有した上でそれぞれの強みと課題について話し合いながら今後の目標設定を行い、計画的に取り組んでいくことで成長に繋げることができたと感じる。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」について

2024 年度の満足度調査の結果を踏まえて、利用者の日々の様子を丁寧に保護者に共有していくことや、利用時間の延長、利用日数の増加など必要な改善を行った。利用者との関わりの中で個々のケースに合った対応を職員間で模索し、今後の成長に繋がる支援に努めた。余暇活動については、毎月イベントを実施し、お買い物活動や動物とのふれあい体験、ボーリング大会などを行っている。イベントを実施した結果、ご利用者やご家族から好評であったため、2026 年度も引き続き企画、実施を行っていく。また、ご利用者の興味関心に応じた遊びについて職員会議で議論し、新たにシンバルや太鼓、ピアノなどの楽器

を使った活動を提供することでご利用者に楽しく過ごしていただくことができました。

職員の専門性向上を目的とするために、法人内研修や勉強会、外部の研修に積極的に参加し、各事業所の事例検討についてや強度行動障害の方への対応の仕方等を学ぶことができました。学んだ内容について、後日職員間でフィードバックを行うことで支援力の向上を図ることができました。また、障がい特性に関する事業所内勉強会を開催し、新人職員にとっても障がい特性を学ぶ機会として良い取り組みになったと感じたため、今後も継続して開催していきたい。

③ 「安定的な事業運営」について

年間稼働目標を達成するために、新規契約や既存の利用者の利用日数の増加、キャンセル対応を随時行った。感染症によるキャンセルを想定した上で、通常よりも多く新規契約を行ったことで、年間稼働目標の14人以上を達成することができました。今後も目標稼働率の達成に向け、日中一時支援事業所を探されている方がいないか相談機関と密に連携を図っていき、必要に応じて新規契約を行っていく。

2026年度に向けた取り組みとして、新規契約を5人、既存利用者の日数増加を4人行った。どの曜日にも突然のキャンセルが出たとしても目標稼働率を下回ることがないように調整を行うことで、今後も安定的な事業運営に努めていく。

④ 「地域支援事業の継続的な実施と体制強化」について

地域社会に向けて、障害者支援に関する情報があれば積極的に発信を行っていくよう努めた。また、お買い物活動やライフパークなどの施設活動を通して、地域の方とのふれあいの経験を積むことでご利用者の成長に繋げることができたと感じている。今後も引き続き、地域でサポートを必要としている方に対して情報発信を行っていくとともに、必要に応じて相談機関等と連携を図りながら地域支援体制を構築していく。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績（定員15名）

単位：人

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	323	308	314	349	325	306
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	313	296	301	323	240	312

2025年度利用児合計…3,710人

(2) 利用（開所）状況

単位：日

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月

開所日	23	21	22	22	20	22
-----	----	----	----	----	----	----

開所日合計…262日

(3)職員の状況 (2026年3月31日現在)

	管理者	指導員	合計
常勤	1	1	2
非常勤		3	3

(4)職員の勤務体制 (2026年3月31日現在)

A 勤	7:45~18:45 (60分休憩含む)
B 勤	8:30~18:30 (60分休憩含む)
C 勤	9:30~18:15 (45分休憩含む)
D 勤	10:00~18:45 (45分休憩含む)
E 勤	10:30~19:15 (45分休憩含む)
F 勤	13:00~19:00
G 勤	9:30~17:15 (45分休憩含む)
H 勤	9:00~15:00
I 勤	12:00~18:00
J 勤	13:00~18:00
K 勤	13:30~18:30
L 勤	9:30~15:30
M 勤	10:00~16:00
N 勤	11:00~17:00
O 勤	11:30~17:30
P 勤	14:30~17:30
Q 勤	14:30~18:30
R 勤	15:30~17:30
S 勤	8:15~16:00 (45分休憩含む)
T 勤	9:30~19:15 (45分休憩含む)
U 勤	10:45~19:30 (45分休憩含む)
V 勤	8:45~17:30 (45分休憩含む)

3. 主な年間行事

4月	お花見	10月	避難訓練、ハロウィン会
5月	避難訓練	11月	制作活動
6月	制作活動	12月	クリスマス会
7月	避難訓練	1月	お正月遊び、避難訓練
8月	夏祭り	2月	制作活動
9月	制作活動	3月	お花見、卒業生に向けた制作

4. 施設整備

- ① 事業所の窓や扉への鍵の購入(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	58,190 円	窓や扉への鍵 購入費	58,190 円
計	58,190 円	計	58,190 円

※処理年月日 2025年 9月3日

② 公用車の購入（作業費、諸経費込）

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	895,000 円	公用車購入費	895,000 円
計	895,000 円	計	895,000 円

※処理年月日 2026年 1月8日

2025 年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ・りんぐ 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の 4 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①働きやすさとやりがいを感じられる職場作り
- ②利用者満足度及び支援力の向上
- ③安定的かつ持続可能な事業運営
- ④地域支援事業の継続的な実施と体制強化

以下各項目について記載する。

①「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」について

開所 1 年目という環境に加え、職員の退職・異動という体制変更もあったが、職員それぞれの目配り・気配り・心配りにより、相手を尊重する、意見を傾聴する、助け合うという風土が感じられる事業所となっている。定期面談、職員会議、日々のやりとりにおいて、立場関係なく意見を伝えあい、事業所課題は皆で考え解決する流れが確立されている。

室内のレイアウトや環境整備は、一からであったが、利用児の行動特性や事故リスクを踏まえ、日々より良い環境へと変化している。今後も議論を交わし、安心安全かつ楽しさを感じられる事業所となるよう努める。

②「利用者満足度及び支援力の向上」について

利用児、職員ともに日々の流れが確立されてきた頃より、余暇の充実にも力を入れ、季節の活動を実施している。保護者の方より、日中一時支援で季節の活動を実施することに対し、驚きと喜びのお声を頂いた。限られた空間と時間であるが、それらを有効活用できるよう、次年度も更なる余暇の充実を図っていく。

定期的に行われる職員向け勉強会に参加することにより、支援力の向上を図っている。今後も、勉強会で学んだことが実際の支援にどう生かせるかを職員間で検討し、利用児支援へ繋げていく。

③「安定的かつ持続可能な事業運営」について

開所 1 年目ということもあり、まずは利用児が安全に過ごせることを最優先に、環境設定や利用調整を行った。エリアの活用方法や、職員の動きが確立され、利用児も

事業所に慣れてきた頃より、随時契約者数を増やし、キャンセル対応も積極的に行っている。稼働率に関しては、日々職員間で確認しており、稼働に対する意識は高まっていると感じている。令和 8 年度は、収支バランスも意識した利用調整を行っていく。

④「地域支援事業の継続的な実施と体制強化」について

まずは、めやすばこ・りんぐの存在を地域社会の方々へ知っていただくため、Instagram を通して積極的な発信を心掛けた。季節の活動を中心に発信し、活動内容を知っていただく機会とした。今後も、地域でサポートを必要とされる方に情報をお届けできるよう、継続的な発信に努める。

2. 利用者・職員の状況

(1)利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2025 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	195	207	217	234	205	215
年月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
実績	222	191	173	213	179	185

2025 年度利用児合計…2,469 人

(2)利用（開所）状況

単位：日

年月	2025 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	21	22	22	20	22

開所日合計…262 日

(3)職員の状況（2026 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	責任者	指導員	運転手	合計
常勤		2		2
非常勤	1	2	1	4

3. 施設整備

①パソコン購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	137,500 円	パソコン	137,500 円
計	137,500 円	計	137,500 円

(※処理年月日 2025 年 4 月 10 日)

②消防設備工事

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	370,370 円	消防設備工事	370,370 円
計	370,370 円	計	370,370 円

（※処理年月日 2025 年 6 月 30 日）

2025年度 社会福祉法人めやす箱
相談支援事業所めやすばこ あのね 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の4点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」
- ②「利用者満足度及び支援力の向上」
- ③「安定的かつ持続可能な事業運営」
- ④「地域支援の継続的な実施と体制強化」

以下、各項目について記載する。

① 「働きやすさとやりがいを感じられる職場作り」について

業務を明確化しそれぞれの強みに合わせて分担することで効率化を図った。また、業務の内容や進め方を職員間で共有することで、誰もが業務を担うことができるようになり、助け合いやすい職場環境となっている。

新しく相談員となった職員については、エルダー職員が定期的な面談を行い、具体的な業務の遂行状況を確認することで業務の漏れがないようにサポートしたり、相談支援を行う中で困っていることを聞き取ったりすることができている。2年目以降も同じような体制を取りながら、丁寧なサポートが継続できることを目指したい。

また、児童発達支援センターさんぼるて、児童発達支援センターめやすばこの相談員が事業所を超えて職員会議に参加することで、様々な視点から各ケースの支援方法の検討を行うことができた。

相談支援の特性でもあるが、時期により業務量に差があることが課題である。引き続き計画的な業務遂行のための取り組みを進め、繁忙期の業務負担軽減に努めたい。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」について

相談支援の質を高めることを目的とし、研修や協議会への参加を積極的に行った。具体的には倉敷地域基幹相談支援センター主催のOJTや倉敷市の自立支援協議会に参加している。相談支援専門員としてのスキルアップを図ると同時に、地域の相談支援事業所との関係を構築することができている。

また、相談支援従事者現任研修、高次脳機能障害支援者養成研修、ピアサポート研修などの研修へも参加し、幅広い相談支援のスキルを高めている。また、倉敷西部地

域生活支援センターのケース検討にも年に数回参加し、相談支援の視点やケース検討の進め方についても学びを深めることができている。これらの学びを通して事業所内でのスーパーバイズや事例検討に繋げ、より質の高い相談支援が提供できるよう事業所全体で取り組んでいく。

③ 「安定的かつ持続可能な事業運営」について

毎月の職員会議で前月の収入を確認することや具体的な数値目標を掲げることで、目標としていた収入を上回ることができた。特に下半期には相談員の体制が整ったことで加算が算定でき、大きな増収となっている。持続可能な事業運営のためにも、長期的な視点で相談員を育成していくことを意識していきたい。

年度初めには相談員増員に伴いネットワーク対応 HDD を購入し、通信・業務環境の改善を図った。また安全衛生担当者を中心に 5S チェックシートを活用しながら環境への意識を高めることを目指していたが、職員同士で環境改善の提案が行われるなど、課題意識を持ち事業所全体で取り組むことができていた。

車両運行に関しては、訪問先への車両での移動が多いが、事故無く安全に運転業務を行うことができた。引き続きヒヤリハットや事故報告書を活用しながら安全運転に努めたい。

職員会議においてはそれぞれの相談員が業務に当たる中で学んだことや対応したケースについて共有したり、助言が欲しいケースについて話し合ったりする時間を設けることで、一人で抱え込まない体制を整えている。次年度以降も職員が働きやすい環境を整えることで、収益の安定や持続可能な事業運営に努めたい。

④ 「地域支援の継続的な実施と体制強化」について

関係機関との連携を重視し、保育園、幼稚園、学校、医療機関などとの連携を図っている。生活の場へ直接足を運び、様子を共有することで本人の姿を適切に捉えるだけでなく、関係機関とも相談し合える関係を築くことができたと感じる。

また事業所の空きがなくサービスに繋がれない方等に対しては、児童部門で取り組んでいる地域支援の情報提供を行うことで、待機している間にも行き場や頼れる先を確保できることを目指した。児童発達支援が年度の早期に埋まりやすく、待機児が多いという課題が職員会議で挙げたことから、次年度からの地域支援事業の新たな展開について検討を依頼している。

次年度以降も引き続き地域との繋がりを重視し、地域に根差した事業運営を進めていきたい。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績

【計画相談支援・障害児相談支援】

(単位：名)

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	100	70	49	48	72	62
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
実績	71	43	36	49	37	74

(2) 利用（開所）状況

(単位：日)

年月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	21	22
年月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
開所日	23	21	22	22	20	22

開所日合計…262日

(3) 職員の状況（2026年3月31日現在）

(単位：名)

	管理者	相談支援専門員	指導員	合計
常勤	1	2		2
非常勤		2	1	3

※管理者は相談支援専門員との兼務

※相談支援専門員一名は同一敷地内他事業所訪問支援員兼務

※相談支援専門員一名は他事業所相談支援専門員兼務

※相談支援専門員一名は法人本部兼務

※指導員一名は同一敷地内他事業所指導員兼務

(4) 職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A 勤	8:15～17:00（45分休憩含む）
B 勤	9:30～18:15（45分休憩含む）
C 勤	8:45～12:45（休憩なし）
D 勤	13:30～17:30（休憩なし）
E 勤	9:30～13:30（休憩なし）
F 勤	14:15～18:15（休憩なし）

3. 主な年間行事

なし

4. 施設整備

① NAS, HDD の購入

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	79,200 円	NAS, HDD 購入費	79,200 円
計	79,200 円	計	79,200 円

(※処理年月日：令和7年8月18日)

2025年度 児童部門 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	301	309	311	317	324	322	321	320	321	319	317	315	
延べ利用者数 (単位:名)	2,511	2,497	2,537	2,658	2,479	2,554	2,647	2,381	2,390	2,545	2,243	2,500	29,942

2025年度 めやすばこ・きつず 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	36	36	36	37	37	37	37	37	38	38	38	38	
延べ利用者数 (単位:名)	208	221	219	232	202	228	242	220	234	232	209	224	2,671
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	22	23	21	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	9.50	10.00	9.90	10.00	9.60	10.30	10.50	10.50	10.60	10.50	10.50	10.50	10.20
稼働率 (単位:%)	95%	100%	100%	101%	96%	104%	105%	105%	106%	105%	105%	102%	102%
待機登録者数 (単位:名)	13	13	14	19	24	28	32	32	13	11	10	10	

2025年度 めやすばこ・きつずⅡ 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	30	30	32	32	32	31	30	30	30	30	30	30	
延べ利用者数 (単位:名)	196	209	205	200	210	219	218	213	205	204	192	198	2,469
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	22	23	21	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	8.90	9.50	9.30	8.70	10.00	9.95	9.50	10.14	9.30	9.27	9.60	9.00	9.43
稼働率 (単位:%)	89%	95%	93%	87%	100%	100%	95%	101%	93%	92%	96%	90%	94%
待機登録者数 (単位:名)	2	3	6	13	19	24	31	35	10	3	3	1	

2025年度 めやすばこ ひ・よ・り きつず 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	31	34	35	38	40	40	40	40	40	39	38	37	
延べ利用者数 (単位:名)	214	227	235	241	222	241	241	217	226	228	205	215	2,712
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	22	23	21	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	9.70	10.30	10.60	10.40	10.50	10.90	10.40	10.30	10.20	10.30	10.20	9.70	10.29
稼働率 (単位:%)	97%	104%	110%	105%	107%	110%	106%	104%	103%	103%	102%	97%	104%
待機登録者数 (単位:名)	0	4	8	9	14	18	18	23	24	11	12	5	

2025年度 児童発達支援センターめやすばこ 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	38	38	38	40	42	42	42	42	42	43	43	43	
延べ利用者数 (単位:名)	689	655	660	731	657	713	721	648	625	697	621	686	8,103
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	22	23	21	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	31	29	30	32	31	32	31	31	28	32	31	31	31
稼働率 (単位:%)	104%	99%	100%	106%	104%	108%	104%	103%	95%	106%	104%	104%	103%
待機登録者数 (単位:名)	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	

2025年度 児童発達支援センターさんぼるて 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
延べ利用者数 (単位:名)	442	428	436	449	436	406	449	391	394	429	395	440	5,095
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	22	23	21	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	20.09	19.45	19.82	19.52	20.76	18.45	19.52	18.62	17.91	19.50	19.75	20.00	19.45
稼働率 (単位:%)	84%	81%	83%	81%	87%	77%	81%	78%	75%	81%	82%	83%	81%
待機登録者数 (単位:名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2025年度 めやすばこ きっずぷらす 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	71	71	71	71	71	70	70	69	69	68	67	67	
延べ利用者数 (単位:名)	244	242	251	222	222	226	241	205	232	219	202	240	2,746
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	22	23	21	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	11.09	11.00	11.40	9.60	10.57	10.27	10.47	9.76	10.54	9.95	10.10	10.90	10.48
稼働率 (単位:%)	110%	111%	114%	96%	105%	102%	104%	97%	105%	99%	101%	109%	104%
待機登録者数 (単位:名)	25	35	45	55	66	77	77	77	77	47	47	45	

2025年度 めやすばこ・ぶるーむ 利用実績

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	合計
登録利用者数 (単位:名)	53	53	51	51	51	51	51	51	51	50	50	49	
延べ利用者数 (単位:名)	323	308	314	349	325	306	313	296	301	323	240	312	3,710
開所日数 (単位:日)	22	22	22	23	21	22	23	21	22	22	20	22	262
一日平均利用者数 (単位:名)	14.70	14.00	14.30	15.20	15.50	13.90	13.60	14.10	13.70	14.70	12.00	14.20	14.16
稼働率 (単位:%)	105%	100%	102%	109%	111%	99%	97%	101%	98%	105%	86%	101%	101%
待機登録者数 (単位:名)	5	5	5	6	6	6	6	6	7	7	8	9	

